

情報社会と科学

「波動」

11/10, 11/17, 12/1, 12/8
(次回から藤木先生が担当です)

長島雅裕
(長崎大学教育学部)

前回講義に対するコメントから

「水伝」について、確認

- 水が「ありがとう」「ばかやろう」などの言葉に反応することはありません。
- これは、科学的に既に否定されていることです。可能性はまったくありません。
 - 膨大な過去の様々な実験が、「水伝」が間違っていることを証明している
- 「水伝」をもとにした道徳は、「水伝」の「科学的」説明の正当性が否定された途端、崩壊します。その点、ファンタジーや御伽噺とは性質が違います。
- 今日これからお話するように、「水伝」的二世科学は、自由で民主的な社会を歪ませ崩壊させる基盤にすらなる可能性があります。

植物に声をかけたりするとよく育つという話を聞いたことがあるが、愛情をもって育てることで、植物の変化に気づき、成長に差がでるのかもしれない

- これは重要な観点です。
- 「植物に声をかける」から一足飛びに「植物が人間の言葉を理解する」のような結論に行く前に、考えなければならないポイントがあります。
- 例えば、植物によく声をかけるような人は、ささいな変化にも気づきやすいということは十分に考えられます。
- 「声をかける」→「よく育つ」は因果関係ではなく相関関係かもしれません。「植物を注意深く見る人」→「声をかける」かつ「注意深く見るのでよく育つ」かもしれないのです。
- 論理が飛躍していないかどうかを見極めることが大切です。

信じていたのに/期待していたのに、ちょっと残念。

- 一般に、非科学的なもの、超常現象・超能力などに憧れるという気持ちはとてもよくわかります。私も子どものころはそうでした。
- 今でも、色々想像(妄想?)するのは楽しいですし、そういうSF小説やマンガを読むのも好きです。
- ただし、現実との区別はつける必要があります。大人ですから!

「ベートーベンを聴かせて造った酒」を呑んだ

- 「ベートーベンを聴かせたので、水の分子が…」というのであれば、それはおかしい話です。
- しかし、ベートーベンを好きな人が、ベートーベンを聴きながら、ベートーベンを聴かせて造った酒を味わう、というのは、それはそれで至福のひとつときかもしれません。
- 自然科学的な意味での差異はなくても、例えば自分の気持ちを盛り上げるための演出として呑むというのであれば、それはアリなのでは、と思います。
- 人間の精神というのは複雑なものですから。「音を楽しむ」のが音楽であって、そこに水がどうか関係ないのでは？

世の中は不確定で未知のものであふれている。「死」も誰もわからないからこわい。だから答を追い求めるが、答は出ない。何かにすがりつきたくて間違った情報に飛び付いてしまう。

- 人間とは弱いものですし、また未来のことは、ある程度予測はできても、確実ではありません。どうしても不安になります。
- そのときに、深く己を見つめなおしていくのか、それとも安易な解決法に乗ってしまうのかで、道は大きく分かれます。
- 科学がすべてに答を出せるわけではありませんし、また出すべきではない領域が確実にあります。科学がすべてではない。
- しかし、「すがりつきたい」心情と、漠然とした「科学への信頼」につけこむ人々がいるのもまた現実です。たとえ善意であったにせよ。
- しっかりと考えて生きていきたいものです。

「波動」

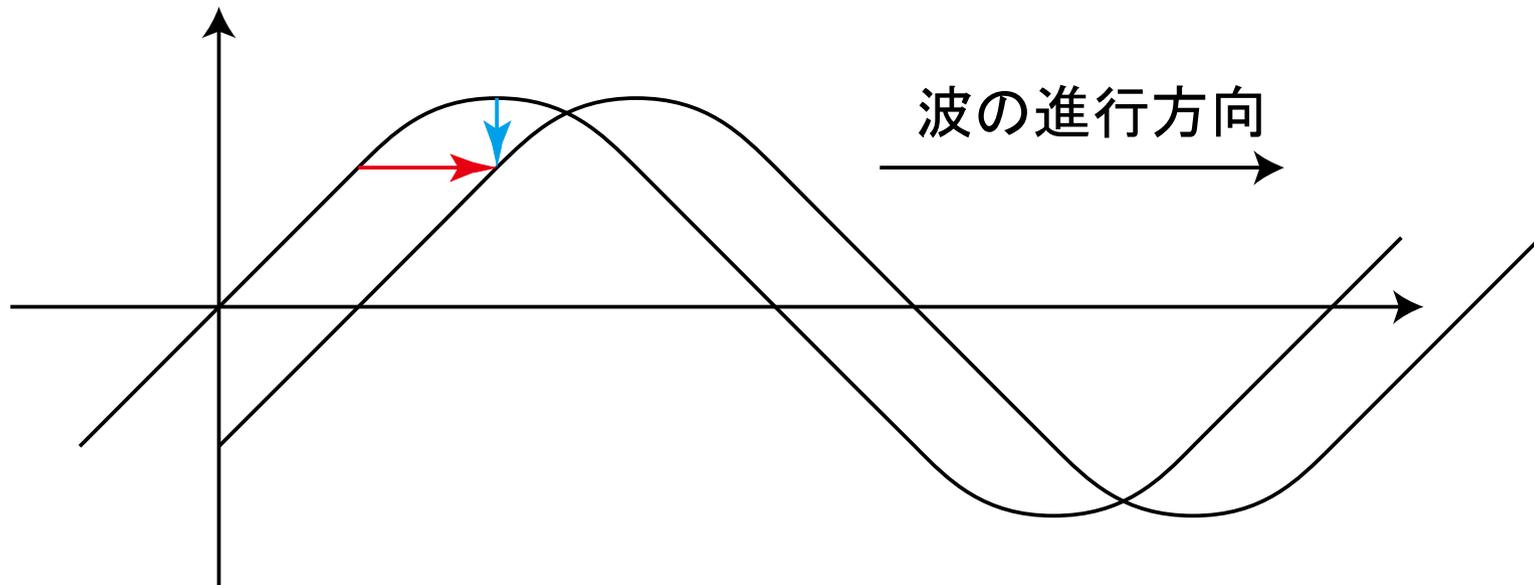
一見、科学っぽいけど…

中身を見ると、そのいい加減さに呆れる
しかし、これをベースにした話が
あちこちで広まっていると言う現実がある

「水伝」は「波動」理論と密接な関係
「波動」と関係したニセ科学をいくつかご紹介

まずは正しい「波動」の理解

- 要するに「波」です。
- 「波動方程式」で記述される。
 - 単位時間あたりに、同じ高さで空間方向に進む長さと、同じ場所で高さが変化する長さが等しい、という方程式。それだけ。



- 数式でどうなるかはともかく、皆さんが普通思っている波のイメージと同じ(はず)です。

量子力学と波動

- この手の「トンデモ」ニセ科学には、量子力学を使った正当化がしばしば見られるので・・・
- ミクロなスケールでは、日常生活とは違った様子が見えてきます
- すべての物質は、波の性質を帯びます。
 - 二つの物質が干渉したりする
- 「物質波」の波長・・・ $\lambda = \frac{h}{mv}$ （式が出ても思考停止しない！）
 - λ : 波長、 m : 質量、 v : 速度、 h : プランク定数
 - **歩く人間の場合** ($m=60\text{kg}$, $v=1\text{m/s}$)、 $h=6.63 \times 10^{-34}\text{J}\cdot\text{s}$ なので、波長はおよそ 10^{-35}m 、短すぎるので**波の性質考えなくて良い**
 - 止まっても、体の内部は常に動いている
 - 臓器、細胞、・・・

電磁波

- これもあちこちで聞きますが・・・
- 電場(電界)・磁場(磁界)の波
- そして、「光子」という素粒子でもある
 - 波の側面と粒子の側面(量子力学の二面性)
- 波長が約400nm-700nm(ナノメートル)の電磁波が、「可視光線」と呼ばれる。いわゆる、光。
- 波長の短い順に、
 - γ (ガンマ)線、X線、紫外線、可視光線、赤外線、電波
- どれも同じ電磁波、波長が違うだけ
- 光速で伝わる

江本流「波動」の定義(→『水伝』)

- 「波動とはエネルギーの最小単位のことである、と私は考えています。」(江本勝『波動の人間学』p.23)
- 「誰にでもわかるようにエネルギーという言葉を実義すれば、エネルギーとは『力』のことであり、『すべての物質や精神を含め、それらが存在することの証しとなる単位』とでもなりましょうか。」(同、p.24)
- この二つの文章の間に、「理化学辞典」の「エネルギー」の項を引用し、「とても一般の人には理解できない」と言う
- 自分でわからないことを、勝手な思い込みで勝手な定義をし、勝手にわかったつもりになっている。
- なお、力とエネルギーは別物。物理学の第一歩。
 - (エネルギー) = (力) × (距離) 例: 位置エネルギー

比喻と現実の混同

- 「精神のエネルギー」「文字のエネルギー」などと言う場合、エネルギーはあくまで比喻
- 物理学的なエネルギーは計算可能なきちんと定義されたもの。
- (意図的かどうかは分からないが)ここに付きこみ読者を「分かった気にさせ」ている

理解せずにものを言う

- 「例えば後に述べるように、量子力学という学問が、実は60年も前から登場していて、今ではそれが定説となり、毎年選ばれるノーベル物理学賞の受賞者は、ほとんどこの分野の研究者ばかりであるという現実があるのに、私達にはまったくこの学問の内容が理解できません。

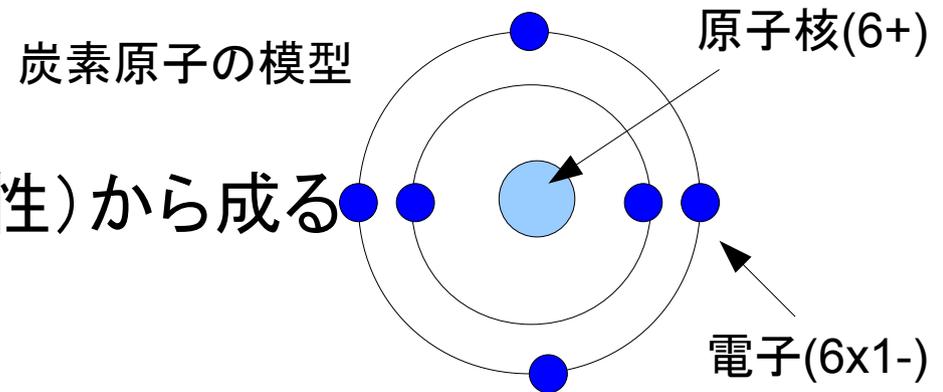
この量子力学こそ、実は波動学のことなのです。」

(江本勝『波動の人間学』1994、「まえがき」より)

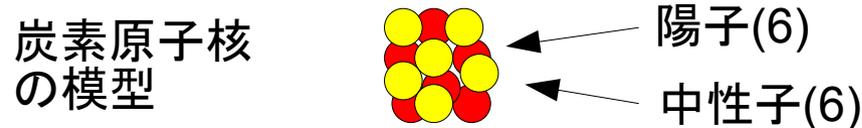
- 「理解できない」と言っておきながら、「実は波動学のことなのです」とは論理破綻も甚だしい
- 思いつきでしかものを語っていないことの表れ

(ここでちょっと) 物質の最小単位

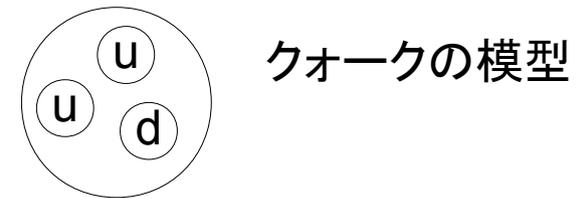
- 原子は原子核(正の電荷)と電子(負の電荷)から成る



- 原子核は陽子(正)と中性子(中性)から成る



- 陽子・中性子はクォーク3つから成る



- クォークには6種類ある

- アップ(u)、ダウン(d)、ストレンジ(s)、チャーム(c)、トップ(t)、ボトム(b)
- 小林誠、益川敏英により1973年に理論的に予言→ノーベル賞!!
- 当時はu,d,sまで発見されていた。その後1995年までに順次発見。

江本流の解釈—仮定=結論

- 「今ここに、**もし**そのクォークを、人間が持つ意識そのものであると仮定したらどうなるでしょうか？

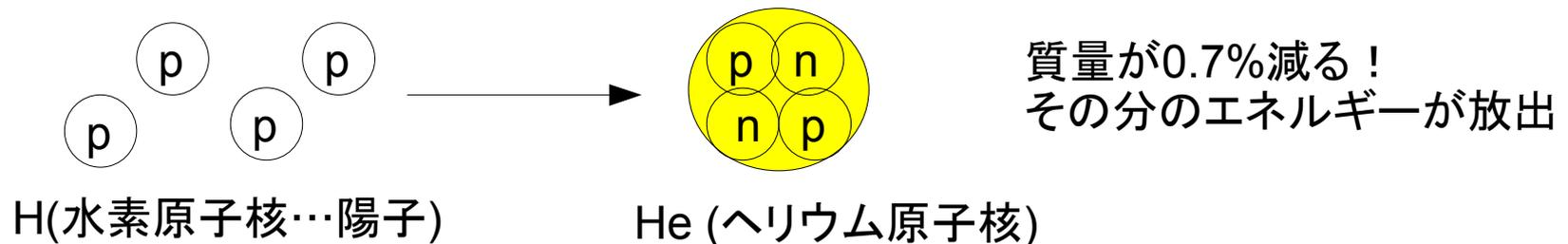
つまり現在謎とされているほとんどのことは、人間の持つ不思議な能力の問題と**いってよいでしょう**。なぜサイババは？なぜユリゲラーは？なぜアダムスキーは？なぜ宜保愛子は？なぜノストラダムスは？なぜ出口王仁三郎は？というようにです。

もし、クォークが人間の意識であり、それが宇宙に充満しているのなら、本来我々人間は誰でもそれらと自由に交信できるはずで。そして、メビウスの輪のように宇宙そのものも輪廻転生を繰り返している**のなら**、我々は、過去や現在、そして未来のクォークすなわち意識とも交信できるわけですから、前述したような神秘的なことはいわば朝飯前の出来事のように、受け取られるはずで。」（江本勝『波動の人間学』1994、p.211）

- この後、脳のどの部分がアンテナになっているかの話が続く。

$E=mc^2$

- アインシュタインの特殊相対性理論（光に近い速度で物質が運動するとどうなるか？）
- この理論から、（エネルギー）＝（質量）×（光速）²が導かれる
- たとえば水素→ヘリウムの原子核反応では質量の0.7%、炭素＋酸素→二酸化炭素の化学反応では0.00000001%の減少
 - それに相当するエネルギーが放出される



- 特殊相対性理論はすでに検証済み。
- これが江本氏にかかるとどうなるか？

E=mc²の江本流解釈

- 精神免疫論学者(?)のホアン・ヴァン・デューク博士が、江本氏に、「cは、本当は光の速度ではなくて、Consciousness(意識)のcなのですよ」と言う
 - 光速をcと書かなくてもいいのだが…celeritas、ラテン語の「速さ」
- それをもとに、無茶苦茶な計算を展開
 1. 現在の地球規模のエネルギーの総和
 $E=60\text{億(人)} \times 3^2 = 540\text{億エネルギー}$
c=3にする理由は、「現代人の平均で、その使用されている脳神経細胞が3%にすぎないという事実によるものから3と設定した」
 - ★質量を人数で測っている。エネルギーの単位は何？
 - ★3%だったら0.03じゃないの？
 2. …バカバカしいので以下略。
- **仮定がいつのまにか前提に。**

「波動」？

- 江本は相当初期から「波動」に凝っている
- 波動とは、「**波動測定器**」で測定されるものであるらしい
 - なんだそりゃ
 - 江本らが販売している(高い！)
- 「物質はすべて振動している」「テーブルもリンゴも人体も振動している」「固有の周波数を発し、独特の振動を持っている」これを量子力学を持ち出して根拠付けている
- しかし、**量子力学はミクロの世界で重要**になり、人体などの**マクロの世界では通常の力学**で十分
- 人体(マクロな物体)固有の波動など存在しない(科学でわかっていること)

III 仕様



値段／セット内容



値段、セット内容

IHM特別ご提供パッケージ価格 ¥2,625,000円(税込み)
(パソコンが不要な場合は¥2,520,000円<税込み>となります。)

パッケージ内容: HADOアストリア本体／特殊ヘッドフォン／USBケーブル／レーザー照射装置・
試料カップ／専用バック／専用パソコン(インストールした状態で納品いたします。)/操作マニュアル／保証書(2年間保障)／HADOカウンセラー養成講座受講料／指定研修会(操作説明会・初級研修)／事例研究会 ※指定研修(操作説明会、初級研修)並びに事例研究会につきましては何度でも受講することが可能です。

【確認事項】この「HADOアストリア」は、一般的に認知されている医学的な治療、診断を目的とするものではありません。弊社の波動的な考え方、知識を身につけていただいた方(会員制)だけがお使いいただけます。

エネルギーの乱れた箇所を、自動的に改善します
自分のエネルギーの乱れを修正する情報がヘッドフォンから出力されます。エネルギー改善を行った後は改善前と改善後の状態を画面で比較することができます。

言霊機能で、言葉を入力し自分の心の在り方を確認できます。
自分の気になる言葉を入力し、今どのような状態にあるかを確認し、良くなるためにどうすればよいか分かります。また、人間関係や仕事など様々な相性を調べることもできます。

情報転写機能で、自分に合ったオリジナルの波動水を簡単に作れます。
日常のケアに使う水や化粧品などに、自分のエネルギーを改善する情報を転写することができます。

データベース機能により、エネルギー低下の原因を調べることが出来ます。
食品や汚染物質、ハーブ、ホメオパシーなど多数の情報がデータベースに内蔵され、自分に影響が高い情報のリストを検索することができます。

サプリメントやアクセサリーなどの相性を調べられます。
付属の転写カップに、サプリメントやアクセサリーの現物を入れ、自分のエネルギーとの相性を調べることができます。





HADOアストレア体験談

<http://www.hado.com/astrea/as-taiken.html>

■原因不明の疲れ・無気力に、驚きの改善 (50代 女性)

病院の検査では異常なしと言われましたが、疲れやすく、気力・体力の低下が激しいため、波動アストレアのカウンセリングを受けました。「肝臓・胆嚢」「遺伝子」の部位でエネルギーの低下が見られたため、エネルギー改善を行いました。

さらに、「遺伝子」の部位に言霊機能で「浄霊」「先祖供養」と入力すると著しくエネルギーの改善が見られ、その結果に鳥肌が立ちました。**墓地の問題などで悩んでいた**ので、その問題に向き合う決心ができました。

それ以来、毎晩のように見ていた悪夢も見なくなりました。また、エネルギーを修正するためのオリジナル波動水を作り、3週間ほど飲み続けたら、周囲もびっくりするほど体調も良くなってきています。不思議な体験でしたが、効果をはっきりと実感しています。

■遠隔ヒーリングで実家の両親をケアする (60代 主婦)

遠方の実家の両親が高齢になり、介護に関しても考えていた時期に、自分と実家の両親のケアのためにアストレアを購入しました。写真を使った遠隔ヒーリングが出来るので、離れた距離でも毎日健康チェックが出来ます。以前に比べて私も家族も元気になり、感謝しています。

怪しい学会がいくつか・・・

サトルエネルギー学会	平成18年度理事・役員(の一部)
名誉会長	大島 正光 元東京大学医学部名誉教授、医学博士、健康科学研究所 所長
会長	帯津 良一 帯津三敬病院 名誉院長 医学博士
副会長	新家 龍 神戸大学名誉教授
副会長	山野井 昇 東京大学大学院医学系研究科 マイナスイオン応用学会 会長
名誉理事	船井 幸雄 船井総合研究所 代表取締役 会長
名誉理事	村上 和雄 筑波大学 名誉教授
名誉理事	江本 勝 (株)アイ・エイチ・エム総合研究所 所長

船井幸雄:「オカルトビジネスのドン」(「カルト資本主義」齋藤貴男)
この人の本は頭がクラクラしてきます。
しかし、信奉者は非常に多い。→後述

村上和雄:もともとはちゃんとした科学者。高血圧に関する遺伝子研究で有名。
船井系に近づく。ID理論(Intelligent Design)の推進に(結果的に)手を貸してしまっている。
ID理論は創造科学の焼き直し。
創造科学は聖書の記述を絶対化したアメリカ発のキリスト教原理主義。「学校で進化論を教えるな」などの主張をしてきた。
創造科学から宗教色を取ったものがID理論。ただし、事実上、「神」を「偉大なる知性」に置き換えただけ。

江本勝:「水からの伝言」首謀者。「波動」を軸に、ニセ科学を浸透させている急先鋒。
「水伝」は、現在全国の小(中)学校の道徳などで教える教師が多く、問題視されつつある

合同して右翼的イデオロギーへ

- 波動技術実践研究会発足記念フォーラム 船井幸雄グループ・比嘉照夫グループ・江本勝グループ連携イベント 地球と人類向上への実践 続出する波動技術が地球と人類を救う！
- 「(前略)このように世界各国を訪れているうち、ふと気づいたことがありました。何故、国内よりもむしろ西洋に受け入れてもらいやすいのだろうか・・・と。 たどり着いた答えは「初めに言葉ありき」という聖書の「創世記」に出てくる言葉が関係しているのです。これは本来、日本の「言霊信仰」とまったく同じ考え方だと思います。何故、日本が言霊の国だったのかというと、その根底には「国家神道」があり、加えて民衆の尊敬を集める天皇制があったからです。そのような日本人のDNAに刻まれた神や天皇に対しての忠誠心が「日本的純粹波動」です。しかし、残念ながら、この概念は、戦後教育の中で失われている状態です。(後略)」(江本勝、『HADO』2007年11月号、p.5)

歴史学的にもトンデモ

- 国家神道など明治以降の産物
- 戦前の体制の反省・批判の上に、戦後の民主的な体制(教育含む)ができたのではなかったのか
- 船井幸雄・・・「オカルトビジネスのドン」(斉藤貴男による)
- 比嘉照夫・・・元・琉球大学農学部教授、現・名桜大学教授
 - EM菌、船井のバックアップ(宗教団体との関係)
- 波動つながり

EM

- EM=Effective Micro-organisms, 「有用微生物群」
- 比嘉照夫が開発、商品化
- 環境対策としても、各地(特に九州・沖縄)で使われている
- 色々なものの一つとしてのEMなら、まだ救いがあるが・・・

「効能」

- 汚水の浄化
- 生ごみを肥料に
- パンを焼いたり漬物を漬けたり、洗濯物の劣化防止にも
- 家畜に飲ませたり、畜舎に散布して悪臭防止
- 化学物質、放射線物質、農業による環境汚染、水質汚染、大気汚染、酸性雨、炭酸ガス公害、オゾン層の破壊などを解決
- 健康飲料として！
- 「末期の肝臓ガンが治った」
- 「万能」をうたうのが特徴
- 「いいことだけがあって悪いことがない『本物技術』」(船井幸雄)

実態は . . .

- 「有用」の意味：人間にとって「いい」か「悪い」か。
- 研究者による追試：「有用」とされていた菌が見つからなかったり、使ってみても効果が見られなかったりした
 - 例：公開シンポジウム「微生物を利用した農業資材の現状と将来」日本土壌肥料学会（主催）
 - 毒にも薬にもならない？ 少くぐらいなら影響がある？
 - いずれにしても、劇的な効果は見られないようである
- 「長年、EMを扱うなかで、あまりに不思議な現象が起きるので、江本さんの著書『波動時代の序幕』を読んだところ、EMが起こしているのは『波動』ではないか。『波動』という視点を入れなければ説明できないことだと実感しました。」（比嘉照夫、『HADO』2007年11月号、p.8）
- 「EMさえやっておけば」となるのが最悪
 - 本当にやるべきことから目をそらされてしまう

環境浄化微生物資材 EMW(イーエム・ダブリュ)



品名	容量	価格(税込)
EMW	500 ml	¥ 1,050

EMのご注文は全国のEM販売店にて承っております。

EMWは、安全で有用な乳酸菌や酵母などの微生物を培養した液体です。効果は、EM1と同じ。色づきの心配がなく、柑橘系の香りです。EMWを薄めてひと噴きし、軽く拭き取れば雑菌の繁殖を抑え、衛生的な環境づくりに役立ちます。ご家庭での掃除や洗濯、シックハウス対策など用途は様々です。

2000.8.20発売
2008.4.1パッケージ・リニューアル

そんなに高くない(むしろ安い?)
おそらく、本気で善意でやっていると思われる

菜園EMパウダー

家庭菜園用EMXセラミックスパウダー



品名	容量	価格(税込)
菜園EMパウダー	400g	¥ 1050

菜園EMパウダーのご注文は全国のEM販売店にて承っております。

菜園EMパウダーは、EMとEMXを混合した粘土を高温で焼成したセラミックスを微粉末(約7ミクロン)にしたものです。このセラミックスにはEMの情報が封入されており、EMの効果を安定的に持続させることが期待できます。また、炭化成分を含有させていますので、保肥力を高めると同時に、微生物の住処となるので、EMを土壌中に定着させるのに役立ちます。

【菜園EMパウダーの利用例】

- 1) 土壌改良
- 2) 病虫害予防
- 3) EMボカシへの活用

高温で焼けば微生物は死ぬ
「情報が残る」ということはない

昨年(2019年)の12月、江本勝さんが設立した(株)IHMの20周年記念セミナーに船井幸雄さんと私がゲストスピーカーとして招待され、波動についていろいろとお話しする機会がありました。私はEMの本質的な効果は、関英雄先生が確認した重力波と想定される縦波の波動によるものと考えています。

これまで明らかとなっている波動は電磁波としてとらえられる横波であり、物質がエネルギー化し消失する一連の流れに沿ったものであり、エントロピーの法則に従うものです。重力波は、そのエネルギーの流れとはまったく逆の関係を維持する波動と言えるもので、汚染や低レベルのエネルギーを使えるレベルに集約し、そのエネルギーで物質化を促進する力があると言われていています。私はこのような現象をシントロピーと称しています。

重力波にそんな力はない(後述)。
比嘉氏が重力波をまったく理解していないことのあらわれ。
EMが使える範囲を明らかにし、トンデモな説明をやめる必要。

七田式幼児教育

- 「七田チャイルドアカデミー」全国に教室を持つ
- 幼児教育、早期教育
- ESP(超能力)教育をしている
 - 「子ども達は右脳の共鳴現象によって、左脳の五感的な壁を超えて、超時空的に情報を受け取ります。

右脳は共鳴機能で受け取った波動情報をイメージに変えて理解する機能があります。この二つの機能によって、全盲でも景色が見え、色が見え、字が読み取れます。聴覚機能がなくても、言葉が聞き取れ、理解し、対話することが出来ます。」(七田眞・七田厚『脅威の七田式右脳学習法』p.36)

- 「右脳」「左脳」という通俗的イメージは、証明されていない

超能力教育をしている

- ESPカードを使って、「透視」の訓練
 - もちろん、実際には透視なんてできません。
- 「右脳の開発」に効果があるらしい…
- 「ほめて育てる」を強調し、子育てに不安な母親に寄り添う形で接近する
- しかし「自閉症児は母親から十分言葉をかけてもらわずに育ったために、言語の要である左脳の働きがうまく機能しないのです。」(七田真『どんな子だって必ず伸びる！』PHP研究所、p.34)「自閉症児は学習障害児です。0歳から1歳のときに、ほとんど手をかけず、言葉を学ばせず、放っておいたために、急速に学習に対する意欲を失ってしまい、学ばなくなって学習障害を起こしているのです。」(同、p.42)→母親を脅して不安にさせている
- 現代の知見では、自閉症は器質障害と考えられている。親のせいではない。

「モーツァルト」理系白書も参照

- そこで**日本音楽熟成協会**では鳥取大学医学部の**深田美香助教授**が進める『環境音楽における事業所の精神的ストレス緩和効果把握研究』に参加協力することで音楽熟成効果の医学的解明に乗り出すことになりました。各調査は平成18年1月末より進められ、現在も進行しています。
http://onjyuku.com/k_houkoku.html
- **深田助教授**は「他の音楽にも効果はあるかかもしれず、モーツァルトだけを特別視する材料はない。被験者が少なく、ストレスを左右する他の要因を考慮していない。個人差もある。**統計学的な説得力はない**」と話す。**学会や論文では発表していない。**
(理系白書)
- 一方、**深田助教授**は「感情や記憶のある人間だからこそ、音楽が力を持つのだと思う。バナナが影響を受けるという話はどうか。」(同)

日本音楽熟成協会

- [日本音楽熟成協会]役員
- 会長 **七田真**(しちだ・教育研究所会長)
- 特別顧問 **船井幸雄**((株)船井総合研究所名誉会長)
- 常任顧問 足立統一郎(境港商工会議所会頭)
- 顧問 河村健夫(元文部科学大臣)、相沢英之(元経済企画庁長官)、高村正彦(衆議院議員)、赤沢亮正(衆議院議員)、常田享詳(参議院議員)、田村耕太郎(参議院議員)、山東昭子(参議院議員)、片山善博(慶応大学教授・前鳥取県知事)、平井伸治(鳥取県知事)、能勢隆之(鳥取大学学長)、竹内功(鳥取市長)、...
- <http://onjyuku.com/>

「ゲーム脳」も同様、根拠がない

- 森昭雄氏が提唱
- 新書を一冊書いただけ「ゲーム脳の恐怖」(生活人新書)
- きちんとした論文になっていない
- 森氏の専門は、本来は脳科学ではない
- 毎日長時間ゲームばかりやっていれば、脳がどうこう以前に、あちこちに支障が出るのは当然
 - ゲームに限らず、スポーツでも、読書でも
- これもまた、教育関係者に浸透している
 - 教育委員会主催の講演会に呼ばれることも

「100匹目の猿」現象

- 元は生物学者、ライアル・ワトソンが言い出した。
- 宮崎県・幸島のサルがイモを洗って食べ始め、他のサルがまねを始めた。洗うサルが100匹を越えたとき、大分県・高崎山のサルもイモを洗って食べた。という話。
- 物事にはなにか閾値があり、そこを超えると、「場」が発生して伝播する、と主張(参照:「形態形成場」シェルドレイク、「シンクロシティ」ユング)
- 「念ずれば通ず」ということで、「ありがとう、愛・感謝と祈りましょう」と江本らがよく使う。
- **船井幸雄がよく言及する**(例えば「百匹目の猿—『思い』が世界を変える」船井幸雄、「『百匹目の猿現象』は右脳から」船井幸雄、七田眞)
- しかしこれは、そもそもがライアル・ワトソンの**作り話**。まったく科学的ではない。

100匹目の猿から何を言うか

- 「起こったことは必要、必然、ベスト」「工業化社会の弊害も必要必然だった」(『百匹目の猿』、p.110)
- 「肯定思考が健全な生き方をつくる」(同、p.126)
- あらゆる不幸、不運は神(あるいは「サムシング・グレート」)の大いなる意思なのである、と諦めを強いる思想
- 自分が変われば世の中も変わる、つまり悪いことは自分の行いが悪いせい、と納得させる思想
- 物言わぬ労働者、進んで支配に服する人間をつくる思想

「船井」本のすごさの例

- 「波動で上手に生きる」船井幸雄、サンマーク出版

「人間の魂が八次元まで行けるのは、魂の波動が電磁波ではなく重力波だからといえるでしょう。重力波はレベルの高い波動で、電磁波の十億倍のスピードで走ります。つまり光の速さの十億倍ですから、宇宙の果てまでわずか二秒で行くことができると考えていいものです。」(p.94)

- 魂？
- 八次元？
- 魂の波動？
- 重力波とは空間の歪みが伝わる波。一般相対性理論。
- 重力波のレベルっていったいなに？
- 重力波の速さは光速、つまり電磁波と同じ。
- 仮に光速の十億倍だとしても、宇宙の果てまで10年以上かかる（宇宙の果てまで光速で137億年、その10億分の1は13.7年）

物理学の用語を勝手に使いまわし、勝手な解釈を与え、妄想に満ちた議論を展開する。

TAMA300

- 世界で最初に稼動した、重力波干渉計。
- 東京・三鷹の国立天文台内にある。
- 現在、次世代干渉計を開発中(神岡)。



つづき

- 同じ本の「まえがき」

「『思い』も波動です。波動には優位の波動と劣位の波動があり、より優位の波動が劣位の波動をコントロールできる、というのが波動の性質の一つですが、この世の中で最高の波動は、宇宙を創造した何か偉大な存在(サムシング・グレート)の『思い』、すなわち宇宙の意思だと考えられます。ですから、宇宙の意思はすべてをコントロールできるのです。私たちは、宇宙の意思に反するような生き方をすべきではないでしょう。」

- 波動に優位も劣位もない
- しかも、優劣に価値観が入り込んでいる
- それを正当化するため、something greatなるものを持ち出す
- 一種のID理論？「神」を言い換えたもの？
- 宇宙の意思に従え、と言っているが、宇宙の意思の内容は船井が勝手に言っているだけ。
- 要するに、「一般人は考えるな。上の言うことに従っとけ。」と物言わぬ民、黙って働く労働者を作ろうというイデオロギー。どんなにつらくても、感謝せよ、と。

「波動」ビジネス、そして・・・

- こういう本が、ここ数年特によく売れているらしい
- 誰が買う？経営者？企業の重役（経営側）？
- 経営色を薄めた「波動本」は、普通の人にもうれているよう
- ニューエイジ思想の現代版？
- 船井氏の本業（経営コンサルタント）は、それはそれで成功しているようだが、だからと言って、今見たような無茶苦茶な理屈が正当化されるわけでは**まったくくない**。
 - 技術と科学の違い
- 「思い」を通じて、「スピリチュアル（霊的）」につながる思想
- 諸問題をすべて「自分のせい」にする→外的な問題に目を向けさせず、「自分が変わればすべて良くなる」と思い込ませる
- **ニセ科学問題は、社会とつながっている。**

怪しい博士号・大学

- 江本勝：代替医療学博士（オープン・インターナショナル・ユニバーシティ）
- 七田真：米国ニューポート大学日本校教育学部教授。教育学博士（ただしどの大学で授与されたかは不明）
- どちらも「ディプロマ・ミル」「デグリー・ミル」（学位製造工場）と呼ばれる大学（金さえ出せば、社会経験などを適当に積み上げて、博士号を出してくれるような大学のこと）。
- 他にも色々。

参考：「『ディプロマ（ディグリー）・ミル』問題について」

国際的な大学の質保証作業部会 国際システムWG報告（文部科学省）
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/024/siryou/04010803/006.htm

最後に(1)

- この4回では、社会に蔓延するニセ科学の典型例として、血液型性格判断、マイナスイオン、水伝、その説明理論としての波動を取り上げました。
- ニセ科学の〇×をつけることが本意ではありません。これらについては**ケーススタディとして理解**してもらいたいと思います。
 - ニセ科学性にも種類があります。物事を科学的・批判的に見る目を養う題材として理解してください。
 - 科学的命題・価値的命題の区別。
- 他にもとりあげたいものは色々ありました。スピリチュアル、オカルト等々(オウム真理教をくりかえさない)も含めて。信じるにせよ批判するにせよ、ぜひ、問題意識を持って眺めて欲しい。
- **だまされないために、そして、知らず知らずのうちに、他人をだまさないために。**

最後に(2)

- この4回分のスライドは、私の web page で公開します(今回の分も、近日中に公開します)。
 - <http://astro.edu.nagasaki-u.ac.jp/~masa/lecture/>
- 今日書いてもらう報告用紙に載せられた質問・コメント等についても、(時間があれば)私の web page でコメントをつけて紹介したいと思います。
- ニセ科学の世界は、広く・楽しく・恐ろしい。質問や意見があれば、いつでも来てください。なるべく応対します。「オマエはまちがってる」でもOKです。
 - 無闇やたらと信じるよりは健全かも？

※次回から担当が変わります。